

2013年11月7日

80BC “ARPEGGIO” を引渡し

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（社長：三島 慎次郎，本社：東京都港区）は、11月7日（木）、舞鶴事業所（京都府舞鶴市）にて建造していた SANGRIA PIONEER TWO S.A. 向け 80BC “ARPEGGIO（アルペジオ）” を引き渡しました。

本船はプロペラ前後に装備された当社独自の省エネデバイスであるSSD、SURF-BULBの他、新船首形状となる LEADGE-BOWを採用したため、あらゆる載貨状態での実海域性能を向上させており、燃料消費量の削減とCO2排出量の低減に成功しています。

また、従来の同面積の舵と比較して、高い揚力を持つルーパス舵を採用しています。操縦性能を低下させることなく舵を小型化し、その結果として大きなカーゴスペースが確保できました。本船のホールド容積は同クラス（いわゆるパナマックス・クラス）の中でも最大レベルです。

居住区画については、数値シミュレーションによる解析と起振機による振動実験を実施し、振動を低減させています。ISO標準と比較しても十分に低い振動レベルであり、快適な居住性能となっています。

<主要目>

全長	:	225.00メートル
幅	:	32.26メートル
深さ	:	20.00メートル
喫水	:	14.407メートル
総トン数	:	42,608トン
載貨重量トン数	:	80,584トン
主機関	:	MAN-B&W 7S50MC-C
定員	:	25名
航海速度	:	14.6ノット
船級	:	LRS